

かえで

編集 社会福祉法人江東楓の会 編集責任者 理事長 伊藤 善彦
発行所 江東区南砂1-6-9 TEL 5617-3750 FAX 5617-3752

理事長あいさつ

社会福祉法人江東楓の会 理事長 伊藤 善彦

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より当法人運営に多大なるご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、私が理事長を拝命して2年が経ち、この度2期目をお受けすることになりました。夏梅前理事長より法人運営を引き継ぎましたが、この2年間は試行錯誤の連続でした。利用者・ご家族の高齢化の問題、親亡き後の問題、生活の問題、就労の問題、医療的ケアを必要とする利用者の問題、また業界全体の課題ですが人材不足の問題もあります。課題を挙げるときりはありませんが、法人役員はじめ職員と共に真摯に向き合ってきたと自負しております。できない理由を考えるのは簡単ですが、できるために何ができるか？を考えていくことが大切だと思っております。職員と共に利用者のためにできることを考え、難しい課題にもチャレンジする法人であり続けたいと思います。江東楓の会は「笑顔の基地」となれるよう感謝の気持ちを忘れずに、利用者支援に真摯に向き合ってまいりますので、今後ともご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



「第 17 回かめ亀カーニバルからパラリンピックへ」

江東区亀戸福祉園 事務主任 片上 友美

木々の緑が萌ゆるにつれ、暑さもまた日に日に増してきているのを感じ、一気に初夏の装いになってきました。

好天の下、去る 6 月 1 日に「第 17 回かめ亀カーニバル」が開催され、大勢の方々にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。たくさんのボランティアの皆さん、地域の方々、地元企業の方々そして利用者さんのご家族に支えられてかめ亀カーニバルを開催する事が出来ている事に改めて感謝を申し上げます。

今年は毎年恒例のサンバや和太鼓、リフティングショーの方の他に、日本ボッチャ協会の方によるボッチャ体験会を行いました。来年はついに東京パラリンピック、そしてボッチャ競技がここ江東区で開催されます。実際の競技に触れることで、東京パラリンピックへの関心がますます高まるきっかけになったと思います。

この熱を冷ますことなく、今年も 1 年亀戸福祉園全体で東京オリンピック・パラリンピックに向けて盛り上がっていきたいと思います。



「近況報告」

第三あすなろ作業所 支援員 丸山 裕輔

初夏の頃、皆様、どうお過ごしでしょうか。

私は、第三あすなろ作業所に異動して一年が経ち、作業所の環境や雰囲気の中で少しずつ業務を覚えながら、利用者みなさまと関わる事ができるようになってきていると感じています。異動した当初は不安や心配が多かったですが、今は、毎朝作業所に通勤することが楽しくなっています。日々、大変なことや悩みがありながらも、充実して楽しく仕事に携わることができています。

そんな中、今年の第三あすなろ作業所の「サン 3 フェスティバル」では、事前準備で協賛企業へ連絡することや、当日の開閉会式、イベントの司会を務めさせていただくなど、責任のある仕事を担当させていただきました。本番当日の司会については、地域のお客様等、大勢で話をすることは不安と緊張でいっぱいでしたが、おまつり全体として、大盛況で終えることができ、私にとっても自信へと繋がりました。また、おまつりにご協力いただきましたみなさまへ、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。

この経験を今後の業務の中でもいかしていけるよう精進していきます。

「令和初の近況報告」

ワークセンターつばさ 支援員 三上 友芽

新緑が進み、暖かく気候の良い日が続いて、お出掛け日和のここ最近。

ワークセンターつばさは、4月に新たな仲間を1名迎え、利用者36名でスタートしました。5月から新元号に変わり、長かったGWが明けたところで…つばさ正面入口から隅田川沿いを清州橋方面へ向かった所にあるLYUROというホテルで初めて開催された『隅田川マルシェ』へ出店をさせて頂きました。お天気が良く、たくさんのお客様が来場し、「つばさを知っていたけどなかなか買いに行けなかった」「つばさのお煎餅はお祭りや区役所で買った事があって美味しかったから」など地域の方々の声をたくさん聞く事が出来ました。また、知って頂く良い機会となりました。

今後、6月にはバスハイク、7月には佐賀人コレコレ祭りが控えています。バスハイクは、横浜を班で自由行動の予定です。班ごとに、本や写真を見ながら行きたい場所や食べたいものを決めていくので、準備の段階からワクワクできるのが班行動の魅力です。

バスハイクにお祭りと、行事が続くワークセンターつばさですが、令和元年も笑顔いっぱい駆け抜けたと思います。



「近況報告」

若竹作業所 支援員 福家美奈子

4月より若竹作業所に職員・利用者それぞれ新たに1名ずつ加わりました。この春は、有り難いことに新しい取引先が増え、たくさんの作業を頂くことが出来ました。利用者の皆さんは目新しい作業を前に、一生懸命手順を覚え、張り切っていつも以上の力を発揮してくれました。そんな利用者の皆さんの姿を見ていると、職員として少しでも工賃アップに貢献できるよう努力していかなければと思います。そのために職員は、心身ともに健康でなければいけないと思います。ところが、気のゆるみからか令和初日の5月1日に咽頭炎を患い40度の高熱を出し、ゴールデンウィークはずっと寝込んでいました。残りの令和元年は、気を引き締めて、職員・利用者の皆さんがともに健康で1年間送れることを目標にしていきたいです。



「近況報告」

高齢障害者通所施設さくら

施設長 桑島 直之

私事ですが、この4月に3年ぶりに高齢障害者通所施設さくらに戻ってきました。以前、さくらに在籍していたころは支援係長として勤務していましたが、今回は施設長としての勤務となります。以前とは違う立場となり、責任の重さをひしひしと実感している毎日です。さくらは自分の離れていた2年間の間に本館、分室共に利用者の皆さんの入れ替わりが多くありました。本館、分室を合わせて約3分の1の方が入れ替わりました。新たにさくらに加わった方だけでなく、以前より在籍されていた方の中でも生活環境が大きく変わった方もいらっしゃいます。施設としての性格上、利用者の方の入れ替わり、生活環境の変化は今後も続くことと思われます。さくらに戻ってきて、日々の作業などの活動の提供はもちろん大切ですが、利用者の方の日々の変化、生活環境の変化に柔軟に対応できるような『柔軟な生活面への支援』が求められてきていることを実感しています。この『柔軟な生活面への支援』を提供し、本館分室共に利用者の方が安心して毎日通うことのできる施設を目指していきたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

「令和を迎えて」

楓の会ヘルパーセンター サービス提供責任者 萩原 洋

新しい時代が始まり、早くも1ヶ月が過ぎましたが、皆様は令和をどのように迎えられましたか。私は夢の中で迎えていました。

楓の会ヘルパーセンターは、この4月で15年目になり、節目の年を迎えました。

この間、いろいろな出来事があり、出会いと別れもたくさんありました。長い間ヘルパーセンターを利用して下さった方、ここ数年の間に利用して下さった方など、多くの方たちと関わり合うことができたことは、大切な宝物になっています。事業を開始した当初は、3名の利用者から始まりましたが、今では約70名までに成長しました。これからもこの宝物をどんどん増やしていきたいと思います。改めて皆様に感謝の気持ちとお礼を申し上げたいと思います。

また、平成26年からは特定相談支援事業も開始し、事業所としての規模も大きくなりました。これはヘルパーセンターと関わって頂いた全ての方々の支えがあったからこそ、成し得たことだと思います。これからも楓の会ヘルパーセンターをよろしくお願いいたします。



「新任の挨拶ならびに近況報告」

江東区リバーハウス東砂 管理者 原 隆典

この4月に江東区リバーハウス東砂の管理者に就任しました原隆典と申します。これまでは通所事業所を中心に仕事をしてまいりました。当事業所においては、グループホーム・短期入所・緊急一時保護事業を展開しており、これまでの通所事業所では見る事のできなかった利用者の方々の様子を見させていただくとともに生活場面における楽しさや難しさを日々実感しております。

当事業所の近況としましては、私以外に2名の転入者を迎え今年度をスタートしております。グループホームの皆さんは利用開始より1年が経過し、それぞれのリズムで過ごされています。短期入所・緊急一時保護事業につきましては、利用者の方々に応じて試行錯誤しながら、日々対応を進めております。

今後も安心して利用していただけるように、江東区や当法人を中心とした関係機関との連携を大切にして行きたいと考えております。

引き続き、当事業所へのご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

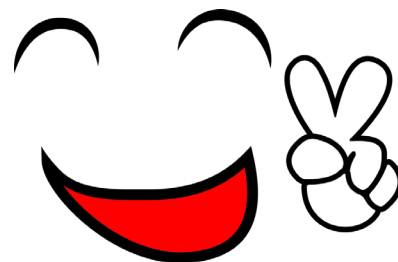
新年度を迎えて

共同生活援助かえで サービス管理責任者 仲俣 圭

世の中が“10連休！”と盛り上がっている中で、共同生活援助かえで（以下「かえで」と称します）も新しい年号を迎えることになりました。かえででは、ご帰宅された方、旅行に行かれた方、ヘルパーと外出された方、寮でのんびり過ごされた方・・・と、どの利用者も思い思いの連休を過ごされていました。

さて、今年度かえででは重点課題のひとつとして『利用者の余暇活動について、ユニットを超えて利用者同士の親睦が深められる機会を設けていくようにする』と決めました。今までも各ユニット毎にいろいろと行事を行ってきましたが、今年度は更に一歩進め、通所施設や就労先や家庭とも異なる生活の場としての“グループホームならではの経験”ができたらいいなあと思い、担当職員を中心に企画を検討しています。今後の会報でそれらの報告をしたいと思います。

最後になりましたが、関係各位の皆さま方、今年度もかえでをよろしくお願いいたします。



楓の会平成 30 年度決算報告

楓の会の理事会及び評議員会が開催され、平成 30 年度決算が承認されました。

貸借対照表

単位千円

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	340, 916	流動負債	243, 241
基本財産	10, 000	固定負債	36, 239
その他の固定資産	144, 940		
		負債の部合計	279, 481
		純資産の部	
		基本金	20, 500
		国庫補助金特別積立金	321
		その他の積立金	95, 947
		次期繰越活動収支差額	99, 605
		純資産の部合計	216, 375
資産の部合計	495, 856	負債及び純資産の部合計	495, 856

資金収支計算書

事業活動計算書

単位千
円

単位千円

事業活動収入	795, 061
事業活動支出	779, 464
差引事業活動収支差額	15, 597
施設整備等収入	400
施設整備等支出	0
差引施設整備等収支差額	400
その他の活動収入	21, 897
その他の活動支出	24, 028
	△
差引その他の活動収支差額	2,131
当期収支差額	13, 866
前期末資金支払残高	97, 207
当期末資金支払残高	111, 073

サービス活動収益	778, 868
サービス活動費用	777, 749
差引サービス活動収支差額	1, 119
サービス活動外収益	16, 192
サービス活動外費用	7, 047
差引サービス活動外収支差額	9, 145
特別増減収益	407
特別増減費用	217
差引特別増減収支差額	190
当期活動収支差額	10, 454
前期繰越活動収支差額	89, 151
その他の積立金取崩額	19, 000
その他の積立金積立額	19, 000
次期繰越活動収支差額	99, 605

※なお千円以下記載省略のため差異あり

第 14 期楓の会後援会収支報告

下記のとおり第 14 期楓の会後援会の収支報告を致しました。

収入の部		
前期繰越	70,341	
後援会会費	624,000	
寄付	500,000	
その他	0	
受取利息	5	1,194,346

支出の部		
振込手数料	7,980	
振込用紙印字サービス	1,924	
郵送代・会報発送代	12,054	
総会飲食代	10,714	32,672

収支差額		1,161,674
------	--	-----------

これを次のように精算します。

楓の会への寄付金	1,100,000
次期繰越金	61,674

令和元年度 後援会会員名簿

〈賛助会員〉（第 39 号からつづく）

川端 美喜雄	山田 修司	井口 智也	井口 晴美
安藤 修	伊藤 隆行	山崎 結子	竹田 理恵
菅谷 栄二	三上 友芽	中村 雄宇斗	伊藤 純子
濱谷 美幸	鈴木 春香	杉山 清人	

（敬称略、順不同）

（なお 令和 元年 6 月 12 日以降 賛助会員は次号につづく）

ご寄付

ご寄付を賜り誠にありがとうございました

○ 匿名希望 6 名（団体含む）

厚く御礼申し上げます

ご寄付いただいたものは、法人の事業に使わせて頂いております

楓の会の各施設今後のイベントご案内

☆令和1年7月27日（土）

第14回 佐賀人コレコレ祭り

ワークセンターつばさ

住所：東京都江東区佐賀2丁目7-4



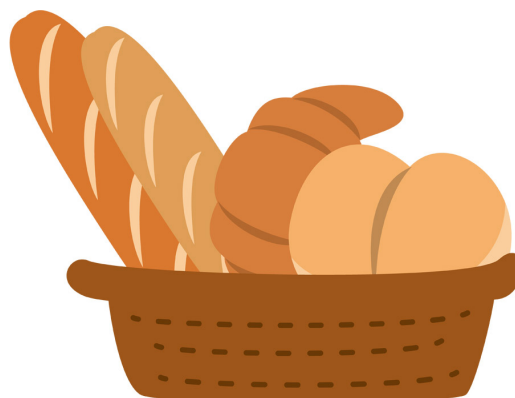
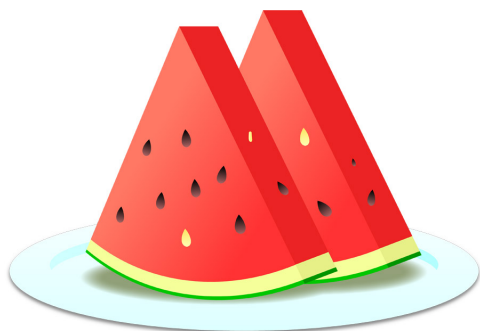
☆令和1年8月24日（土）

第26回 塩浜福祉プラザ祭り

若竹作業所・

高齢障害者通所施設さくら

住所：東京都江東区塩浜2丁目5-20



編集後記

会員の皆様には、日ごろから当法人の運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。今号におきましては、各施設・事業所から、令和初の近況をご報告させていただきました。元号も変わり、ゴールデンウィークは10連休でしたね。いろいろと移り変わるなかで、私たちの思いは、「利用者の為に何ができるか」という想いは変わらずに取り組んでいきたいと考えております。夏本番までとわずか。楽しい計画をお立てください。